

令和6年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区 分	令和6年度	令和5年度	伸び率
予算総額	8,786,642千円	12,960,304千円	▲32.2%
一般会計構成比	0.4%	0.6%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

Ⅱ 主な新規事業及び重要施策

1 県民の暮らしの安心確保

P 5		防犯のまちづくりの更なる推進	【防犯・交通安全課】	32, 235
P 6	一部新規	高齢者の交通安全対策の推進	【防犯・交通安全課】	19, 436
P 7		消費者被害対策の推進	【消費生活課】	142, 335
P 8	新規	バーチャルユースセンター（仮称）の設置	【青少年課】	18, 860

2 人生100年を見据えたシニア活躍の推進

P 9	一部新規	埼玉未来大学によるシニア活躍支援	【共助社会づくり課】	104, 503
-----	------	------------------	------------	----------

3 誰もが活躍し共に生きる社会の実現

P 10	一部新規	困難な問題を抱える女性への支援の強化	【人権・男女共同参画課】	76, 551
P 11	新規	ジェンダー主流化の推進	【人権・男女共同参画課】	821
P 12	一部新規	性の多様性を尊重した社会づくりの推進	【人権・男女共同参画課】	32, 536

4 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

P 13	一部新規	国際交流と多文化共生の推進	【国際課】	8, 058
P 14	一部新規	「バーチャル埼玉」による魅力発信	【県民広聴課】	15, 168
P 15	一部新規	本県の魅力を活用した戦略的な情報発信	【広報課】	26, 852
P 16	一部新規	文化芸術の振興	【文化振興課】	66, 003

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

P 1 7		屋内50m水泳場の整備	【スポーツ振興課】	425,206
P 1 8		スポーツ科学拠点施設の整備	【スポーツ振興課】	16,186
P 1 9	新規	eスポーツの普及・裾野拡大	【スポーツ振興課】	33,296
P 2 0	一部新規	スポーツの振興	【スポーツ振興課】	127,458
P 2 2	一部新規	県民案内業務の実施	【県民広聴課】	10,872

担当 防犯・交通安全課 防犯・犯罪被害者支援担当
 内線 2942、2940

目 的

第4期「防犯のまちづくり推進計画」に基づき、防犯のまちづくりを更に推進して安全・安心の確保を図る。

事業概要

1 防犯環境の整備

28,201千円

(1) 市町村と連携した防犯環境の整備 25,000千円

- ・ 犯罪の抑止効果及び社会的関心が高い防犯カメラの公共空間への設置事業への補助
- ・ 自主防犯活動団体（わがまち防犯隊）の活動支援事業への補助



街頭防犯カメラ
 出典:埼玉警察ホームページ

(2) 自主防犯活動の活性化 3,201千円

- ・ 県民の自主防犯活動において、青パト活動を開始する団体等への青色回転灯等装備品の提供
- ・ 防犯協定締結事業者による地域の見守り活動の推進



青パト装備品の提供

2 防犯のまちづくりの推進

4,034千円

(1) 防犯のまちづくりの普及啓発等 1,739千円

- ・ 市町村等と連携した各種犯罪被害防止に資するキャンペーンの実施
- ・ 県民、事業者等に対する出前講座、現地指導等の実施



防犯キャンペーン



出前講座

(2) わがまち防犯隊レベルアップセミナーの開催等 860千円

- ・ 自主防犯活動団体「わがまち防犯隊」に対するレベルアップセミナーの開催
- ・ 防犯サポーター等に対する情報発信等の実施

(3) 事業者等との連携による防犯活動の推進等 523千円

- ・ 防犯のまちづくり推進会議総会の開催
- ・ 防犯協定締結事業者等と連携した防犯活動の実施及び協定締結事業者の拡大



防犯協定締結式



特殊詐欺被害防止
 ワークショップ

(4) 特殊詐欺被害防止ワークショップ 912千円

- ・ 県民に対する「特殊詐欺対策機器を見て、聞いて、触れる」ワークショップの実施

一部新規

担当 防犯・交通安全課 総務・交通安全担当
内線 2960

目的

高齢者に対し、加齢に伴う身体機能の低下の自覚や正しい横断方法等の交通ルール、自転車乗用中の注意点等を、岩槻高齢者講習センターにおける体験型交通安全機器を活用した交通安全教育や県政出前講座により啓発し、高齢者の交通事故の防止を図る。

事業概要

1 高齢者を対象とした総合的な交通安全教育の推進

19,436千円

(1) 岩槻高齢者講習センターにおける体験型機器を活用した交通安全教育の実施 **(新規)** 17,945千円

- ・体験型機器を活用し、交通ルールや自己の身体能力の認識、手上げ横断をはじめとした安全な道路横断方法、自転車乗用中の注意点、横断歩道における歩行者保護等を学べる交通安全教育を実施
- 導入機器：歩行者シミュレーター、自転車シミュレーター、ドライブチェッカー等



歩行者シミュレーター



自転車シミュレーター



ドライブチェッカー

(2) 県政出前講座による交通安全教育の実施

1,491千円

- ・身体機能や認知機能の低下を踏まえた安全運転の継続に必要な助言や、正しい交通ルールなど、高齢者の特性に応じた交通安全教育を実施

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2935

目的

消費者の安心・安全を確保するため、県・市町村の消費生活相談体制の充実・強化を図るとともに、消費者啓発の推進や悪質事業者に対する行政指導・処分を行う。

事業概要

1 消費者行政の活性化 36,925千円

(1) 消費生活相談体制の強化 4,668千円

- ・消費生活相談員のレベルアップ研修や市町村相談窓口への支援の実施

(2) 消費者啓発・広報の推進 32,129千円

- ・学校等と連携した消費者教育、県民の消費者被害防止を図るための啓発・広報の実施
- ・消費者志向経営の推進

(3) 法執行・事業者指導強化 128千円

- ・悪質事業者に関する情報収集、調査により行政指導・処分の実施

2 高齢者等の見守り促進 15,205千円

(1) 高齢者等見守り促進 14,686千円

- ・「見守り推進員」の配置、市町村に対する消費者安全確保地域協議会の設置支援

(2) 高齢者の消費者被害防止フォーラムの開催 519千円

- ・市町村の福祉部門と消費生活部門の連携強化に向けた情報交換による、地域の見守りネットワーク活動の支援

3 消費者行政の活性化(市町村補助) 90,000千円

(1) 消費者行政の活性化の取組を行う市町村に対する補助 90,000千円

4 消費生活相談体制の強化 205千円

(1) 消費生活相談員確保対策 205千円

- ・消費生活相談員人材バンクの運用、就業後のフォローアップ研修の実施



高齢者を守るお助けかわらばん



消費者被害防止フォーラムの様子

バーチャルユースセンター(仮称)の設置

【予算額】18,860千円

新規

担当 青少年課 企画・非行防止担当
内線 2905

目的

あらゆる子ども・若者に身近な居場所があり、気軽に他者に相談し、生き生きと活躍している社会を目指す。

事業概要

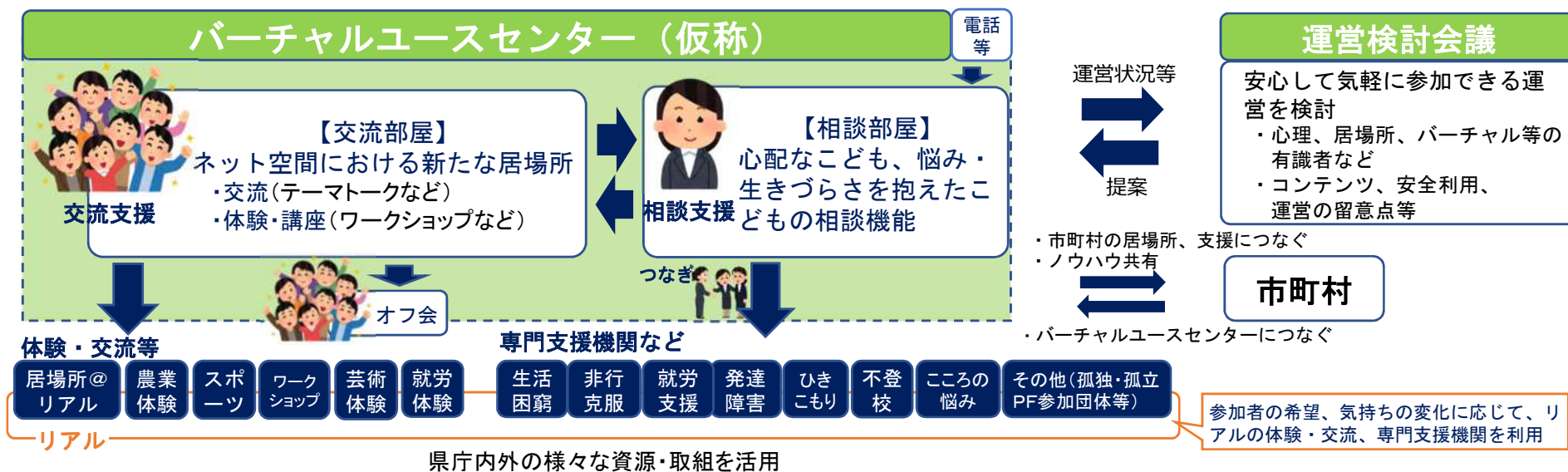
1 バーチャルユースセンター(仮称)の設置

18,860千円

(1) バーチャルユースセンター(仮称)事業(新規) 18,860千円

- ・メタバース空間に、小学生から義務教育終了後の大学生程度までの子ども・若者が安心して気軽に参加でき、体験・交流・相談等の機能を備えた新たな居場所として、バーチャルユースセンター(仮称)を構築

バーチャルユースセンター(仮称) (試験運用：R6.10～、本番運用：R7.10～)



一部新規

担当 共助社会づくり課 活動支援担当
内線 2819

目的

(公財) いきいき埼玉が実施する「埼玉未来大学」を通じ、シニアの「学び直し」と「再チャレンジ」を応援するとともに、元気なシニアが地域の担い手として活躍できるよう支援を行う。

事業概要

1 埼玉未来大学によるシニア活躍支援

104,503千円

(1) 岩槻高齢者講習センターにおける社会参加・健康づくり事業 **(新規)** 22,130千円

・埼玉未来大学のコンテンツを活用した運動機能測定、健康長寿や社会参加に関する講座の放映等を実施

(2) ライフデザイン科 **(一部新規)** 6,171千円

・シニアライフを安心して暮らすための知識の習得や、健康習慣を楽しく身につけられる健康長寿プログラムを実施

新規・拡充内容

➤ オンラインコースの講座数増加 **【拡充】**

令和5年度の計12講座から計17講座へ増加

既存の「人生100年時代における市民活動のすすめ」などの講座に加え

「埼玉県の気候変動とその対策」「シニアのための片づけ・収納術」などを追加

(3) 地域創造科 **(一部新規)** 20,865千円

・NPOの設立や、ソーシャルビジネスの立ち上げ・運営に関する専門的なカリキュラムを提供

新規・拡充内容

➤ 専門講座の充実 **【拡充】**

シニアのニーズなどを捉え、魅力的な講座を新設

「スポーツイベントボランティア講座」、「地域あそびレクリエーション講座」など

(4) 埼玉未来大学の運営 55,337千円

・シニアの地域参加を促進するため、埼玉未来大学の運営を支援



埼玉未来大学の学習風景



一部新規

担当 人権・男女共同参画課 DV対策担当
内線 2923

目的

令和6年4月に施行される「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」を踏まえ、本県における困難な問題を抱える女性への支援の強化を図る。

事業概要

1 困難な問題を抱える女性への支援の強化

76,551千円

(1) 相談支援事業の充実 (一部新規) 53,689千円

婦人相談センターを男女共同参画推進センターへ統合し、女性支援の拠点としての体制を整備、相談支援を拡充

新規・拡充内容

- 相談へのきっかけ作り【新規】
相談窓口を周知、地域でのセミナー&グループ相談会を開催、メタバース相談等を実施
- 相談支援の充実【拡充】
ウェブチャット相談の対象者を拡大(DV被害者→DV被害者+困難を抱える女性)
- 相談窓口体制の整備【新規】
警備体制を整備、相談室を改修



(2) 女性自立支援施設機能の充実 (新規) 7,464千円

- ・支所を困難な問題を抱える女性の自立支援を担う「女性自立支援施設」とするため、入所者の中長期的な滞在を見据え、支所における食堂や自立支援を行うための居室を改修
- ・一般的な生活力を身に付けるための講座等を実施

(3) 民間団体との連携強化 (新規) 15,398千円

- ・困難な問題を抱える女性へのアウトリーチ（働き掛け）、居場所の提供、自立支援を行う民間団体へ助成
- ・民間団体と密接な連携を図るための関係機関連携会議を開催

(新) 埼玉県男女共同参画推進センター

本所(現 埼玉県男女共同参画推進センター)

- ・男女共同参画の推進に関する施策の実施
- ・県民及び市町村による男女共同参画の取組支援
- ・相談支援
- ・関係機関との連絡調整等

支所(現 埼玉県婦人相談センター)

- ・緊急時の安全確保及び一時保護のための施設
- ・自立支援のための施設

新規

担当 人権・男女共同参画課 男女共同参画担当
内線 2921

目的

ジェンダー主流化を県の施策に反映させ、これまで埋もれていた女性（男性）のニーズを取り入れた取組を進めることで、女性も男性も暮らしやすい埼玉県を目指す。

ジェンダー主流化とは

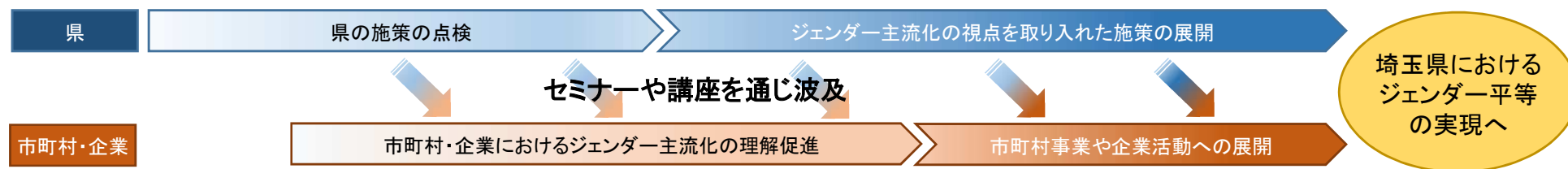
あらゆる施策において、固定的性別役割分担、性差別、偏見等が社会的に作られたものであることを意識する視点を取り入れることで、一つの施策が結果として男女間で格差をもたらしていないかを点検し、事業効果の向上を図るもの

事業概要

1 ジェンダー主流化の推進

821千円

県のあらゆる施策にジェンダー主流化の考え方を取り入れるとともに、県内市町村や企業においてもジェンダー主流化の理解促進を図るため、市町村長や企業の幹部などに向けたセミナー等を開催



(1) 市町村・企業向けジェンダー主流化推進事業 (新規) 821千円

- ・ **トップセミナー**
市町村長や企業の幹部向けに、ジェンダー主流化についての理解を深め、その実践へとつなげるセミナーを各々実施
- ・ **市町村・企業担当者向け講座**
市町村や企業の実務担当者向けに、ジェンダー主流化の重要性を学ぶ講座を実施



セミナー(イメージ)

一部新規

担当 人権・男女共同参画課 LGBTQ担当
内線 2927

目的

全ての人があらゆる場において性の多様性を尊重され、安心して生活できる社会の実現を目指す。

事業概要

1 性の多様性を尊重した社会づくりの推進

32,536千円

(1) 理解の増進 (一部新規)

10,074千円

・性の多様性に関する正しい理解が進むよう県民・企業向けに啓発を実施

新規・拡充内容

- 「性の多様性を知る！分かる！」動画等によるアライ*の拡大【拡充】
正しい理解を促進するため、ロールプレイング形式などの動画や啓発資料を作成
*性的マイノリティを理解し、支援している人、又は支援したいと思う人のこと
- 県内の大学間のネットワークを立ち上げ【新規】

(2) 相談体制の拡充 (一部新規)

16,488千円

- ・当事者等が相談しやすいよう従来の電話やLINEに加えメタバースを活用（にじいろ県民相談）
- ・企業における取組を促すため企業からの相談に対応（にじいろ企業相談）

新規・拡充内容

- メタバース「にじいろ県民相談」【拡充】
音声とチャットを組み合わせたメタバース相談を試行的に実施

(3) 暮らしやすい環境づくり (一部新規)

5,974千円

- ・埼玉県アライチャレンジ企業の登録を働き掛けるとともに、企業向けの事例集を作成
- ・様々な企業等が情報共有できるセミナーを実施

新規・拡充内容

- 埼玉県版「働きやすい環境づくりガイドブック」【新規】
性の多様性に配慮した取組が分からない県内企業向けに事例をまとめた県独自のガイドブックを作成
- アライによる暮らしやすい環境づくり推進セミナー【新規】
企業、大学、市町村などの担当者を集め、実践的な取組を促すためのセミナーを実施



基礎的知識の啓発資料
(イメージ)



埼玉県アライチャレンジ企業
シンボルマーク

一部新規

担当 国際課 国際連携担当、多文化共生担当
内線 2713、2715

目的

若者の国際交流体験を支援し、将来国内外で活躍する人材を育成するとともに、日本人と外国人の双方が歩み寄ってコミュニケーションがとれる「やさしい日本語」の普及等を通じて、県民誰もが暮らしやすい多文化共生の地域づくりを進める。

事業概要

1 真の国際人育成を目指した国際交流の推進

3,000千円

(1) 国際交流オンラインプログラムの実施 **(新規)** 3,000千円

- ・ 中高生を対象に、将来の留学や海外勤務を具体的にイメージできるオンラインプログラムを実施
- ・ 国際的に活躍する本県ゆかりの著名人の講演、現地大学の留学体験、海外の若者との交流により国際感覚を身に付けることができる内容
- ・ 姉妹州（オーストラリア・クイーンズランド州）と連携



2 日本人と外国人が共に地域を支える多文化共生の推進

5,058千円

(1) ボランティア育成研修の実施 3,896千円

- ・ 県民を対象として、地域で身近な外国人を支援するボランティアを育成する研修を実施

(2) 「やさしい日本語」の普及促進 **(新規)** 1,162千円

- ・ 行政機関での活用を通じた普及を進めるための講座を実施

新規・拡充内容

- 「やさしい日本語普及サポーター」の養成 **【新規】**
行政機関において「やさしい日本語」による情報発信を進めるため、普及の中心となる職員を「普及サポーター」として養成する講座を実施



一部新規

担当 県民広聴課 魅力発信担当
内線 2826

目的

バーチャル埼玉を活用した戦略的広報を実施し、埼玉の魅力度向上を図るとともにメタバース県庁の実現を目指す。

事業概要

1 バーチャル埼玉による魅力発信

15,168千円

(1) バーチャル空間を使用した魅力発信 (一部新規) 6,289千円

アウトドアの魅力をキーコンテンツとして、部局横断で埼玉の魅力を発信

新規・拡充内容

- 県産食材を生かしたアウトドアコンテンツ【新規】
- 県内アウトドアに関する360度動画【新規】
- アウトドアユーザー向けの交流など【新規】



バーチャル埼玉の川辺等でアウトドアPR

(2) バーチャル+リアルイベント等の開催 (一部新規) 5,038千円

バーチャルとリアルが連動したイベントを開催

新規・拡充内容

- アウトドア系Youtuber等との連携【新規】
- リアルのイベント等への出展【新規】



バーチャルとリアルの連動イベント

(3) 企業等と連携した情報発信 (新規) 1,100千円

アウトドア企業等と連携し、企業の持つブランド力や集客力を活かした魅力発信を実施

- ・ 企業連携における県との広報連携
- ・ 連携企業によるバーチャルブース出展



蔵造りの町並みに企業ブースを設置

(4) ランディングページ運営、サイト保守管理費 2,741千円

一部新規

担当 広報課 テレビ・ラジオ・広報紙担当
内線 2858

目的

多様な広報媒体を組み合わせ、集中的・効果的な情報発信を実践することで、埼玉観光の流行感を創出し認知度を向上させる。

事業概要

1 本県の魅力を活用した戦略的な情報発信

26,852千円

(1) 広報アンバサダーの戦略的拡充 5,322千円

- ・ 若者の利用が多いInstagramを活用して、それぞれの視点で埼玉県の魅力・観光情報や取組を発信する「埼玉県広報アンバサダー」を6組から20組に拡大し、発信の頻度と柔軟性を向上
- ・ 埼玉県広報アンバサダーは、それぞれが得意とする情報発信の分野（グルメ、地域情報、フォト、和 문화体験etc）やフォロワー数等を踏まえて選定
- ・ 埼玉県広報アンバサダーの目線で発信することで若者等への訴求力を高めるとともに、流行感を創出し、認知度を向上

広報アンバサダーの投稿



梨農家を取材（令和5年8月）

(2) 彩の国だより特集号を活用した戦略的PR（新規） 21,530千円

- ・ 県広報紙「彩の国だより」特集号を発行し、県内や首都圏に向け情報発信
- ・ 観光トピックをインタビューや歴史、文化、秘話、描く将来像等を深掘りした読み応えのあるストーリーで紹介
- ・ 彩の国だより特集号は、冊子タイプも作成し、首都圏に向け情報発信
- ・ 県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」（WEB版）でも掲載
- ・ 県公式SNSや広報アンバサダーなど、多様な広報手法を活用し、集中的かつ効果的に発信することで、流行感を創出し、認知度を向上

多様な媒体で集中的発信



彩の国だより
（令和6年1月号）



県公式Instagram(上)
県公式LINE(下)
（令和6年1月投稿）



一部新規

担当 文化振興課 総務・財団担当、文化創造・発信担当
内線 2878、2879

目的

彩の国さいたま芸術劇場と、埼玉会館のそれぞれの特性を生かし、密接な連携を図りながら多彩な公演を行うことで、県民が優れた文化・芸術に触れる機会を提供する。また、多様な世代・属性による芸術表現活動グループの設立などにより、社会課題の解決に繋げる文化芸術活動を推進するとともに、芸術劇場の開館30周年を契機に、魅力発信の充実を図る。
さらに、伝統芸能等の発表の場と体験機会の創出や支援体制の充実等により、伝統芸能等の魅力発信と継承を図る。

事業概要

1 多彩な舞台芸術作品の提供 49,716千円

(1) 彩の国さいたま芸術劇場と埼玉会館における公演の実施 36,074千円

芸術劇場では、近藤良平芸術監督による、独自性や話題性に富み、芸術性の高い、多彩な作品を創造・発信し、埼玉会館では音楽公演を中心に良質で親しみやすい作品を提供

(2) 多様な世代・属性による芸術表現活動グループの設立・活動 13,642千円

近藤芸術監督が構想する年齢やジャンル、障害の有無などにとられない新たなグループを設立し、ワークショップの開催や公演を実施



撮影:宮川舞子
近藤良平芸術監督によるワークショップの様子

2 彩の国さいたま芸術劇場の開館30周年記念事業の実施 8,050千円

(1) 彩の国さいたま芸術劇場30周年記念事業(新規) 8,050千円

令和6年10月に芸術劇場が開館30周年を迎えることから、劇場を支えていただいた多くの県民に感謝の意を込めて映画館及びSNS等による効果的なPR、グッズ作成や見学ツアー等による記念事業を実施



撮影:小川重雄
芸術劇場外観

3 地域に心豊かな生活をもたらす伝統芸能の魅力発信と継承団体の支援 8,237千円

(1) 伝統芸能等の魅力の発信による新たなファンの獲得 6,789千円

大規模商業施設で伝統芸能団体等によるステージパフォーマンスやワークショップを開催

(2) 伝統芸能等の継承支援 1,448千円

企業等が伝統芸能団体を支えるサポーター制度の運用、学生等によるアーカイブ動画の撮影・公開、伝統芸能団体同士をつなぐフォーラムの開催



大規模商業施設でのステージパフォーマンス

屋内50m水泳場の整備

【予算額】425,206千円 【債務負担行為】34,030千円

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。また、誰もが水に親しむ環境を創出し、県民の健康増進等を図る。

事業概要

1 屋内50m水泳場整備運営事業の推進

33,516千円

- (1) 屋内50m水泳場の整備運営 **1,158千円**
 - ・屋内50m水泳場の整備・運営（PFI事業）に係る事業者等との調整
- (2) モニタリング等支援業務委託 **32,358千円**
 - ・専門的な知識・ノウハウ・経験等を有する事業者モニタリング等支援業務を委託（令和6～8年度の3か年契約）
 - ※ 令和7、8年度については債務負担行為（34,030千円）を設定



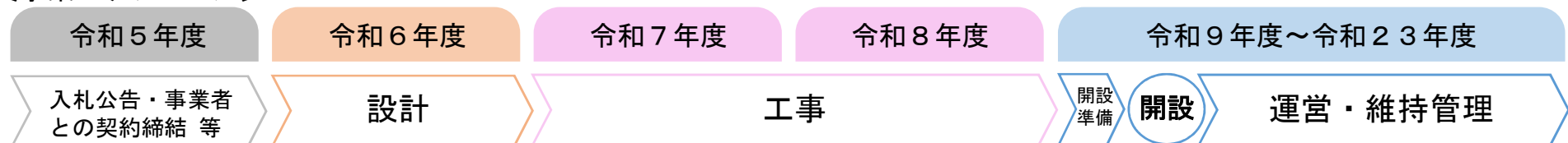
鳥観図

2 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理

391,690千円

- (1) 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理 **391,690千円**
 - ・屋内50m水泳場の整備・運営（PFI事業）に係る事業者への対価（サービス購入料）
 - ・事業期間：令和5年度から令和23年度まで
 - ・総事業費：21,045,137千円

〔事業スケジュール〕



スポーツ科学拠点施設の整備

【予算額】16,186千円 【債務負担行為】14,987,970千円

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

スポーツ科学拠点施設を整備し、パラスポーツを含む多様な競技力の向上につなげるとともに、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進、公園全体の賑わいの創出を図る。

事業概要

1 スポーツ科学拠点整備運営事業の推進 16,186千円

(1) スポーツ科学拠点施設の整備に向けた検討・推進 1,398千円

- ・スポーツ科学拠点施設の整備・運営業務をPark-PFI事業として実施するため、令和6年度中に事業者との契約締結

(2) アドバイザリー業務委託 14,788千円

- ・事業の円滑な実施を図るため、事業者との契約締結までに必要な各種検討にあたり、専門的な知識・経験等を有する事業者にアドバイザリー業務を委託（令和5～6年度の2か年契約）



イメージ図

(実際の施設配置等は事業者提案を踏まえて決定)

2 スポーツ科学拠点施設の整備 【債務負担行為】14,987,970千円

(1) スポーツ科学拠点施設の整備 【債務負担行為】14,987,970千円

- ・令和6年度中の入札公告、事業者との契約締結に向けて、スポーツ科学拠点施設の整備に係る債務負担行為を設定
- ・県が負担する整備費相当額について、事業期間で平準化（債務負担行為の期間：令和7年度から令和38年度まで）



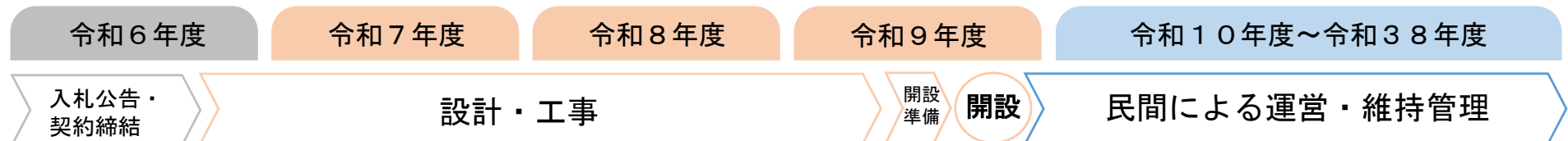
【提供：(独)日本スポーツ振興センター】

スポーツ科学利用

県民スポーツ利用

賑わいの創出

〔事業スケジュール〕



新規

担当 スポーツ振興課 スポーツ連携・企画担当
内線 6959

目的

e スポーツイベントの開催を通じ、e スポーツの普及・裾野拡大を図り、賑わい創出や共生社会の実現、社会課題の解決につなげる。

事業概要

1 e スポーツ普及・裾野拡大イベントの開催 24,267千円

(1) e スポーツ普及・裾野拡大イベントの開催 (新規) 22,995千円

- ・県内3か所の会場を同時接続することで、県内広域に渡るイベントを開催
- ・県内観光スポットが登場するオリジナルのコースやフィールドを作成し、イベントで活用
- ・プロeスポーツプレイヤー等によるエキシビジョンマッチの開催
- ・プロ、アマ選手によるバーチャルサイクルレースの開催
- ・初心者向けeスポーツ体験会の開催



イベント
実施イメージ

(2) 気軽にeスポーツを体験できる機会を提供 (新規) 1,272千円

- ・親子が多数訪れる県庁オープンデーや既存イベントと併催し、身近な場所で実際にeスポーツに触れ、体験する機会を提供

2 人気eスポーツタイトルのオリジナルコースの作成 4,117千円

(1) 県内観光スポットが登場するオリジナルコース、フィールドの公開 (新規) 4,117千円

- ・VRサイクルアプリオリジナルコースの作成
- ・人気eスポーツタイトルオリジナルフィールドの作成



川越市・時の鐘
観光スポット例

3 eスポーツトレーニングキャンプの開催 4,912千円

(1) プロチーム等が指導するeスポーツトレーニングキャンプの実施 (新規) 4,912千円

- ・高校生を対象とし、指導（操作技術、戦術等）を実施
- ・学校関係者、県内企業の視察を受け入れ、eスポーツへの理解を促進



ペイレスイメージズ/123RF.COM

キャンプ
実施イメージ

一部新規

担当 スポーツ振興課 スポーツ連携・企画担当、パラスポーツ担当、競技スポーツ担当、生涯スポーツ担当
 内線 6945、6998、6955、6953、6951

目的

国際試合等の誘致・開催やトップスポーツと連携した試合観戦促進、パラスポーツを含めたイベントの実施によって、県民がスポーツを身近に感じる機会を提供する。また、アスリートへの一貫したサポートにより、トップアスリートの輩出を目指す。

事業概要

1 トップスポーツとの連携

26,268千円

(1) トップスポーツの現地試合観戦の促進 **(新規)** 22,683千円

- ・国際試合等の誘致・開催やトップスポーツを活用した試合観戦促進の取組によって、県民がスポーツに触れる機会を創出し、競技振興と観戦気運の醸成を図る。

〔事業内容〕

・国際試合の誘致・開催

- PRイベント・PV（パブリックビューイング）の開催により、県民の試合参加を促進
- PR動画・PR記事の制作により、県民の試合への興味を喚起

・試合観戦を促すWEBアプリの作成・活用

- 試合情報・チケット情報等の一元化発信
- 複数チーム・複数競技の試合観戦を促進するデジタルスタンプラリーの実施



PVイベントイメージ



WEBアプリイメージ

(2) WEリーグと連携した埼玉女子サッカーの気運の醸成 3,585千円

- ・WEリーグに所属する県内3チーム、ホームタウン市、地元メディア等と連携し、継続的なWEリーグの盛り上げ及び女子スポーツの振興

〔事業内容〕

- ・WEリーグ気運醸成委員会の運営
- ・県内チーム同士の対戦「埼玉ダービー」優勝チームへ知事杯授与及び知事杯授与記念イベントを実施
- ・県内チームと連携した親子・初心者向けのサッカー教室やイベントを開催



知事杯授与記念イベント



大宮アルディージャによるサッカー教室

2 誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実

37,890千円

(1) 多彩なスポーツイベントの開催等 7,238千円

- ・スポーツフェスティバルの開催（アーバンスポーツ体験やプロスポーツ選手との交流など）
- ・スポーツ大会の開催支援のために助成金を交付



スポーツフェスティバル
トランポリン体験



スポーツフェスティバル
ボルダリング体験

(2) パラスポーツの普及・裾野拡大 30,652千円

- ・パラスポーツイベントの開催（ボッチャ交流大会等）
- ・県内学校を対象としたパラスポーツの体験・交流会の開催
- ・地域のパラスポーツ指導員等の育成及び活動支援
- ・パラスポーツ活動団体への助成
- ・デフリンピック等を見据えてパラスポーツ用具を購入し、県有スポーツ施設等へ整備・活用



埼玉県ボッチャ交流大会



特別支援学校と普通高校の
運動部活動交流会

3 競技力の向上

63,300千円

(1) 県ゆかりのトップアスリートの輩出 63,300千円

- ・県ゆかりのアスリートが健常者・障害者ともに、国内主要大会・国際大会において活躍するために、スポーツ科学を活用した発掘・育成から強化支援まで一貫したサポート体制を整備

項目	内容
発掘・育成	【健常者】 年代に応じた発掘・育成を実施 >小学生：多様な競技体験等により競技特性の発見 >中学生：競技別専門トレーニングの実施 【障害者】 障害種別に応じた発掘・育成を実施 >体験会・測定会による競技とのマッチング >発掘した人材を競技団体等で育成
強化支援	強化指定選手に認定し、スポーツ科学を活用した専門家によるサポート等を実施
その他	強化指定選手の認定証交付式や練習会などを健常者・障害者合同で開催することにより、選手間のモチベーション向上、交流機会の創出



強化指定選手の
認定証交付式



R5強化指定選手



競技別専門トレーニング



専門家による個別指導

一部新規

担当 県民広聴課 広聴・知事への提案担当
内線 2842

目的

県民の利便性の向上を図るため、来庁者への案内を行う。

事業概要

1 県民案内業務の実施

10,872千円

(1) 県民案内業務の実施 (一部新規) 10,872千円

本庁舎の県民案内室及び第二庁舎の県民案内所において来庁者への案内を実施

新規・拡充内容

▶ オンライン遠隔案内システムの導入【新規】

第二庁舎の県民案内所にオンライン遠隔案内システムを導入し、アバターによる案内を実施

